

日刊 木材 新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2018
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材に
興味津々
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

日刊木材新聞社
支社局・駐在所

大阪支社	☎ 06-6534-4300 Fax 06-6534-4331
中部支社	☎ 052-251-2025 Fax 052-241-1160
中国支社	☎ 082-231-2285 Fax 082-293-9788
九州支局	☎ 096-352-1856 Fax 096-322-6005
東北支局	☎ 022-239-4430 Fax 022-231-3474
秋田駐在所	☎ 080-2831-8232 Fax 018-829-0087
前橋駐在所	☎ 0270-65-1410 Fax 0270-65-1465

前期比2.7倍の出荷量見込む

国産杉2×4材、国内販路に広がり

さつまファインウッド

伊万里木材市場(佐賀県伊万里市、林雅文社長)グループのさつまファインウッド(鹿児島県霧島市、同)は、国産杉2×4スタッド材の出荷量が2017年度の年間1万4000立方尺から、今年度は3万8000立方尺まで引き上がる見込みだ。北米産輸入製品の入荷が不安定になっていることや国産材製品の品質が向上していることなどを理由に、大手賃貸住宅メーカーの契約分以外でも出荷先や出荷量を順調に増やしている。

ジャストインタイムでの納材が可能で、為替リスクを避けられるという部分で国産材製品には利点がある。最近では国産材利・活

中国・関西地区が300立方尺まで出荷量もあり、今年度の出荷量以上の注文が入っている状況だ。販売エリアは九州地区が6割、

19年度には、同社設

北米向け輸出も昨年春

ころから取り組みを開

始している。ただ、海

備能力での最大生産量

に当たる年間4万80

割、中京地区が1割と

なる。

る。国産杉2×4材の

の引き上げを予定す

00立方尺まで出荷量

用の方考え方がビルダー

側に浸透していること



トラックに積みれ山口県に向け出荷される杉2×4材

外からの引き合いはあ

るものの、現在は国内

向けの出荷を優先して

いる。

出荷製品の比率は2

×4材が以前より増

え、現状では8割を占

める。レギュラーサイ

ととなる(同社)。残りの

出荷分は2×6材だ。

同社は伊万里木材市

場南九州営業所(鹿児

島県曾於市)を中心に、

伊万里木材市場の各拠

点から九州全域の24製

材工場に原木を供給す

ズよりも長いハイスタッド(2630ミリなど)材への要望も増えている。国内ビルダーの仕様に合わせた部材供給ができるのも当社や国内メーカーの強み

る独自のサプライチェーンを構築してきた。また製品の品目を広げるとともに鹿児島県産と東北地域産の杉大径材から製材した2×8、2×10材の性能評価に今後、取り組んでいく。